



K 中 通 信

学校だより第7号
令和4年10月22日
横浜市立軽井沢中学校

【学校教育目標】『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます。(知・徳・公)
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます。(体・開)

【ホームページ】 <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

唯一無二のハーモニーに包まれた一日

校長 佐藤 由利

本校は2学期制ですので、10月11日から後期がスタートしました。連休前の7日に前期終業式を行いました。昨年度私が着任してからはもちろん初めて、学校としてはおそらく3年ぶりに、全校生徒が体育館に集まることができました。

「今年度は、これまでのところ学校行事も予定通りに進めることができている、2週間後には合唱コンクールも予定されています。楽しみですね。このように、授業以外に、いろいろな仲間と共に活動する場面は、みなさんにとってとても大切な学びの場、成長の機会です。行事の内容によって、自分の得意なことを生かすチャンスだ、という人もいれば、得意ではないし、あまり好きでもないことにもがんばって取り組んでいる人もいるかもしれません。ただ、得意な人も、自分だけががんばれば良いわけではないし、逆にあまり好きではなかった人でも、仲間がいるからがんばれる、ということもあります。一人ではなくみんなで一つの目標に向かって取り組むということ、そしてその中で個人個人が、またクラスとして、いろいろなことに気づくことができる、それが行事の大切な意味だと私は思っています。」～終業式で話したことの一部分です。昨年度末の3月、なんとか3年生の歌声を繋ぎたいという先生方の思いもあって、授業の中だけで取り組んだ合唱の発表を行いました。今年の3年生にとってはクラスで合唱に取り組むのは中学校生活最初で最後です。また、こうした行事そのものが久しぶりにおこなわれるということもあり、みなさんはもちろん、先生方も企画の中心になる先生や担任の先生はじめ、ある意味手探り状態で、いつも以上の苦労があったのではないかと思います。けれど、学活や総合の時間になると校舎に歌声が響きわたり、日を追うごとにみなさんの表情や歌声が変わってくるのを見ていて、この行事をやれて良かったとしみじみ感じました。先生方も、忙しくしながらも、楽しそうでした。やはり、行事を通してみなさんの成長する姿をたくさん実感できたからだと思います。音楽には技術を超えて人の心に訴えかける力があります。どのクラスの歌声もそれぞれに、本当に心に沁みました。覚悟はしていましたが、審査をして、順位をつけるのが辛かったです。みなさん、素敵なハーモニーをありがとう。

最後になりましたが、保護者の皆さま、地域の皆さまには直接生徒たちの歌声を聞いていただくことができず、本当に申し訳なく思っております。ご理解、ご協力に心より感謝申し上げます。